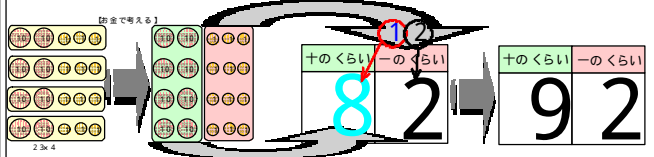
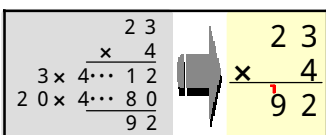


3年 組算数科指導と評価の案

日 時：平成16年 月 日 公開1
場 所：算数教室（北舎3階）
授業者：森 建次（どんどんコース）

1. 単元名 かけ算のひっ算 [1] (3 / 11)
2. 本時の目標
1こ23円のクリップを4こ買ったときの代金を求める活動を通して、2位数×1位数で部分積が十の位にくり上がる乗法を23 = 20 + 3とみて、一の位と十の位を分けて計算できることから筆算の仕方を理解し、筆算で計算することができる。
3. 本時の評価規準
表現・処理：2位数×1位数で部分積が十の位にくり上がる乗法を筆算で計算することができる。
4. 本時の展開

課程	主な学習活動	学習集団	子どものつまずきにに応じた指導・援助
問題提示	<p>1. クリップ4こ分の代金を求める場面を提示する。</p> <p>問題]: 1こ23円のクリップを4こ買いました。全部で何円になるでしょう。式は 23×4 です。</p>	どんどん	<p>つまずきの様相</p> <p>見通しをもつ段階</p> <p>C 2 : 32 × 3 と 23 × 4 の計算のちがいに気づかない。(挙手や表情)</p> <p>→</p> <p>一の位を計算したとき、$2 \times 3 = 6$ と $3 \times 4 = 12$ となることを示し、くり上がりに気づかせる。</p>
課題化	<p>2. 代金を求める見通しをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かっていない数 1この値段…23円 買った数…4こ 求める数 全部でいくらか(代金) もとめる式は 23×4 23×4 を計算すると全部でいくらか分かる。 <p>「前の時間の学習した 32×3 の計算と、どこがちがうのだろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 一の位の計算 $3 \times 4 = 12$ となり、くり上がりがある。 <p>3. 代金はいくらになるか問う。</p> <p>課題]: 23×4 の計算のしかたを考えましょう。</p>	全体	<p>課題追究における段階</p> <p>C 6 : 23×4 のの23を $20 + 3$ とみて計算することに気づかない。(ノート記入・質疑応答)</p> <p>→</p> <p>32×3 の計算をしたとき、32を30 + 2と見て計算したことを掲示物で確認させる。</p>
課題追究	<p>4. コースを決めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> お金、図、式、のどれを使って追究するかを決める。 コース別にネームプレートをつける。 <p>5. 一人一人に自分の考えを持たせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全員を初回巡視し、一人一人の考えやつまずきを調べる。 つまずいている児童をまわり、その子なりの考えをもたせる。 自分の考えがもてた児童は自由交流により考えを深める。  <p>【式で考える】 23を $20 + 3$ とみて計算する。 $23 \times 4 = \square$ $3 \times 4 = 12$ $20 \times 4 = 80$ $12 + 80 = 92$ 答え 92円</p> <p>【ひっ算で計算する】 $\begin{array}{r} 23 \\ \times 4 \\ \hline 12 \\ 80 \\ \hline 92 \end{array}$</p>	個	<p>C 7 : $23 \times 4 = 82$ とくり上がりを考えずに計算して、間違った答えを出している。(ノート記入・質疑応答)</p> <p>→</p> <p>23を $20 + 3$ とみて計算し、$3 \times 4 = 12$ と $20 \times 4 = 80$ の2つの式で計算させる。</p>
解決	<p>6. 全体で確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一の位の計算 $3 \times 4 = 12$ の10は十の位へ2は一の位に入る。 十の位の計算は、$2 \times 4 = 8$ の8と一の位からくり上がってきた1を加えると9になる。 代金は、92円になる。 どの方法も10と1のまとまりに分けて計算していることを確認する。 <p>「式で考えた求め方と筆算の計算と同じ考えをしている(同じアイデア)ところはどこだろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 23 を $20 + 3$ とみて計算して、一の位と十の位を分けて計算している。 	全体	<p>B 8 : お金模型や図を使って考えるがかけ算の式につながらない。(ノート記入・質疑応答)</p> <p>→</p> <p>10と1のまとまりに分けて別々に合計を求める計算する式を考えさせる。</p>
一般化	<p>【まとめ】 23 を $20 + 3$ とみて計算すると (式) $23 \times 4 = 92$ 答え 92円</p> 	全体	<p>B 9 : 23 を $20 + 3$ とみて計算できる。 ($3 \times 4 = 12$, $20 \times 4 = 80$, $12 + 80 = 92$) (ノート記入・質疑応答)</p> <p>→</p> <p>式で計算した計算を参考にして、23×4 を筆算での計算の仕方を考えさせる。</p>
評価	<p>7. 評価問題に取り組む。</p> <p>次のかけ算をひっ算で計算しましょう。 36×2 29×3</p> <p>評価問題の意図</p> <ul style="list-style-type: none"> くり上がりのある2位数×1位数の計算が筆算でできるかを確認する。 <p>8. 発展問題に取り組む。</p> <p>問題]: 3年生を14人ずつに分けたら5つのはんになりました。3年生は全部で何人でしょう。式は、14×5 です。</p> <p>9. 自己評価する。(自己評価カードを使う) 自分のがんばりを自覚し、次時への意欲につなげる。</p>	個	<p>B 10 : 筆算で計算して $23 \times 4 = 92$ であることを求めることができる。(ノート記入・質疑応答)</p> <p>→</p> <p>筆算で計算した92が正しいことを図や 23 を $20 + 3$ とみて計算した式で説明できるように考えさせる。</p>
		個	<p>B 11 : 自分の考えをまとめることができたが、進んで交流できない。(活動の様子)</p> <p>→</p> <p>どのような考えでやったのか説明を聞き、良いところを誉め、他の子に説明するよう促す。</p>
		個	<p>評価問題における段階</p> <p>C 12 : 十の位にくり上がった数を加えるのを忘れて、10少ない答えを出してしまう。(ノート記入)</p> <p>→</p> <p>十の位にくり上がった数を十の位に小さくメモし、十の位に数を書くときに必ず加えて書くようにさせる。</p>
		個	<p>C 13 : 十の位に20くり上がる場合の筆算が正しくできない。(ノート記入)</p> <p>→</p> <p>十の位にくり上がった2を十の位にメモさせ、十のかけ算後加えて、十の位の数を書くように指導する。</p>